

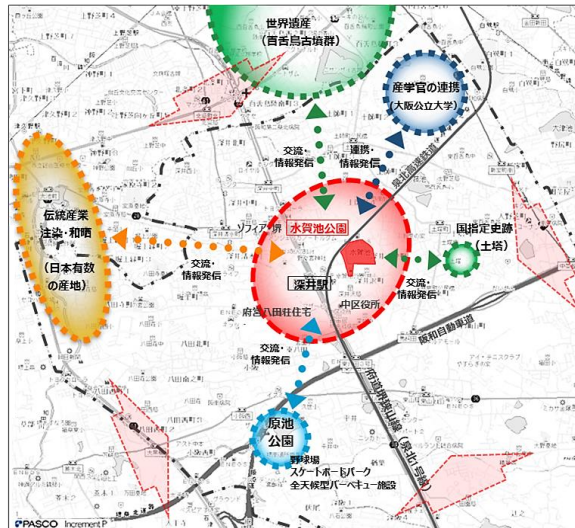
水賀池公園整備事業について【概要版】

【背景と目的】

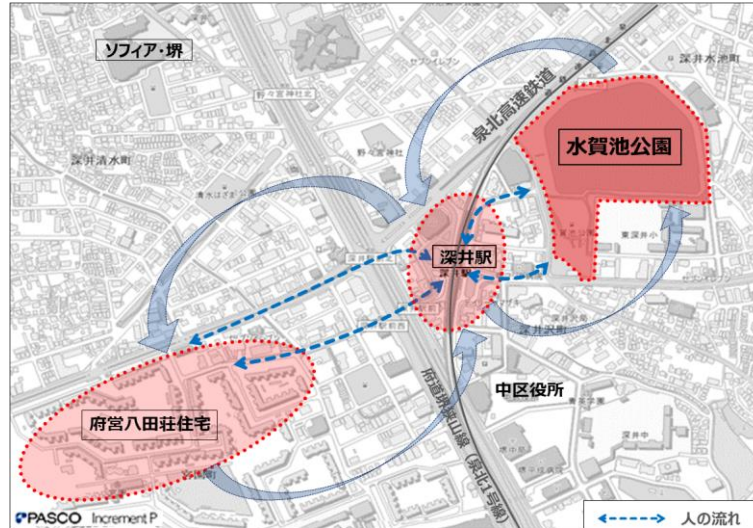
深井駅周辺地域は、泉北高速鉄道の開業以来、市街地を拡大し都市機能の集積を進め、地域拠点としての機能を充実してきましたが、半世紀が経過し人口減少や高齢化、人々のライフスタイルや価値観の変化などにより、地域の魅力は徐々に失われ人の流れも減少し、深井駅周辺地域の活性化は喫緊の課題となっています。

そのため、深井駅に近接した水賀池公園に多様な世代が集い交流する中区の新たなシンボルとなる施設を整備し、魅力ある地域資源を活用した取組との連携により、深井駅を中心とした東西方向の人の流れを誘引し、都市魅力の向上を図ることにより地域拠点としての機能強化を図ります。

＜地域資源を活用した取組との連携＞



＜深井駅を中心とした東西方向の人の流れの誘引＞



【水賀池公園の現況】

水賀池公園は、ため池の堤全体に植栽されたツツジやサクラが、春先の中区を象徴する景観の一つとなっており、地域を代表する公園となっています。また、深井駅に近接し、幹線道路に隣接した立地条件に大変優れた公園です。

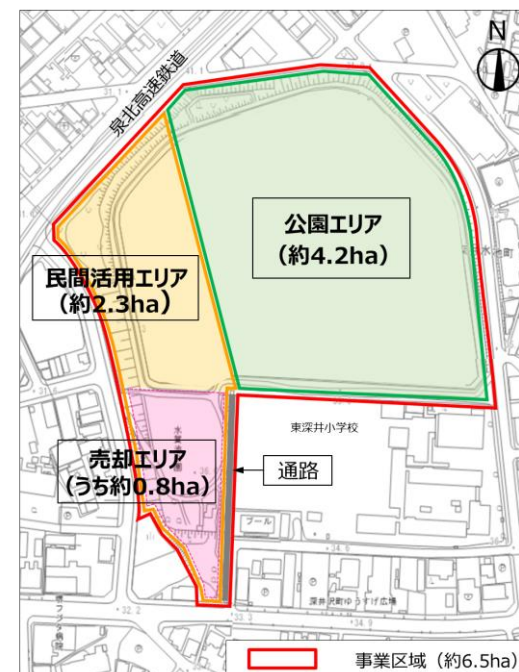
しかし、周辺環境の変化や市民ニーズの多様化等により、公園の魅力が徐々に低下し、利用者も少なくなっています。そうした中、公園の大半を占めるため池の水利権が平成30年に消失したことから、深井駅周辺地域の活性化の核として、新たな魅力ある公園として整備する必要性が生じたものです。



【これまでの主な経過】

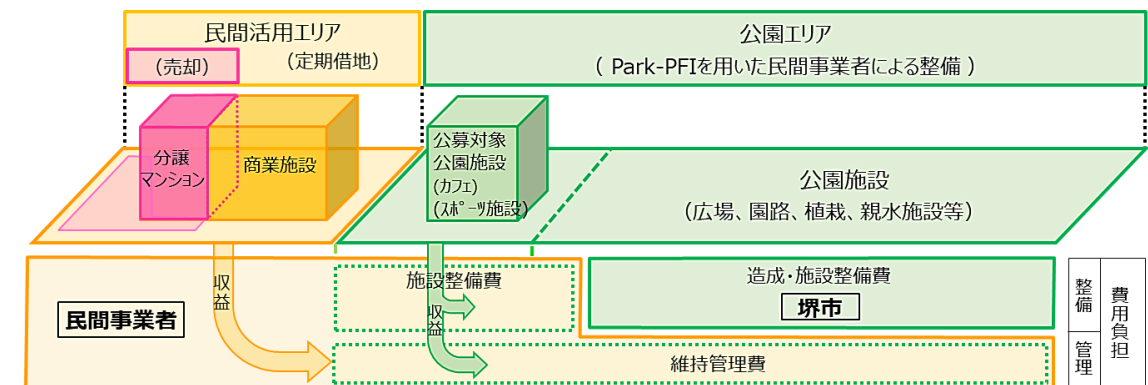
- 令和4年 7月 「深井駅周辺地域活性化事業基本構想」の策定・公表
- 12月 「水賀池公園整備基本計画」の策定・公表
- 令和5年 1月 都市計画公園区域変更、用途地域変更
- 3月 水賀池公園整備事業 事業実施方針の策定・公表
- 5月 事業者公募開始
- 12月 優先交渉権者決定
- 令和6年 3月 **基本協定（全体）締結による事業者決定**
- 4月 民間事業者による施設設計着手

【敷地区分及び事業スキーム】



Park-PFIや民間活用エリアからの収益の一部を公園の維持管理等に充当する事業スキームにより、民間事業者が公園と民間施設の管理運営を一体的に行うことが可能となり、施設全体の効率的かつ効果的な管理運営につながります。

そのことにより、民間事業者が公園と民間施設を一体的に活用したイベントの開催など、多様なニーズに対応した様々な活用を図ることが可能となり、多様な世代の施設利用者が魅力を実感できる交流拠点を実現するものです。



【お問合せ先】

堺市 中区役所 深井駅周辺地域活性化推進室
TEL 072-270-8190 FAX 072-270-8101

施設概要（完成イメージ図）



民間活用エリア



公園エリア

①芝生広場



②多目的広場（地域のお祭り・イベント利用）



③親水施設



④カフェ



⑤ハーブガーデン



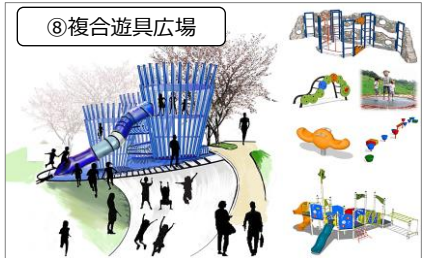
⑥パデルコート



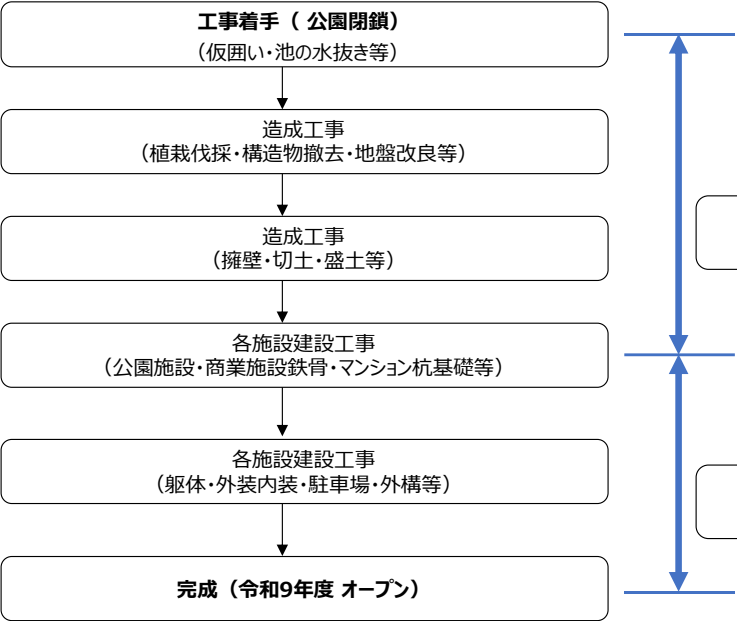
⑦スカッシュコート



⑧複合遊具広場



施工の流れ



	企業名称
代表企業	株式会社フージャースコーポレーション
構成企業（五十音順）	イオンタウン株式会社、合同会社エムサブ、大阪ガス都市開発株式会社、株式会社COM'S、住友林業緑化株式会社、清立商工株式会社、株式会社セルビス、南海ビルサービス株式会社、南海不動産株式会社、西松建設株式会社、パンフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社藤江建築事務所、株式会社フージャースプリングサービス、株式会社LIV建築計画研究所、株式会社隆栄建設